

次号予告

特集 モノづくりDXに貢献するマネジメント技術

- 製造現場におけるIoT/DXを考慮した生産システムの開発 荒川雅裕 (名古屋工業大学)
作業負担軽減や作業性向上を目的とした異常検知に基づく姿勢や動作の問題点の検出
モノづくりのスマート化に資する品質管理の方法—ベイズ理論・情報理論・統計科学を通じて—
..... 平内和樹 (労働安全衛生総合研究所)
..... 竹本康彦 (近畿大学), 有菌育生・棚橋秀斗 (岡山大学)
変化点検出モデルの考察と展開—製造工程での的確かつ迅速な異常原因究明のために—
..... 棚橋秀斗・有菌育生 (岡山大学), 竹本康彦 (近畿大学)
深層学習のソフトウェア信頼性とサイバーセキュリティへの応用
..... 李晨 (九州工業大学), 鄭俊俊 (大阪大学)

機関誌バックナンバーのWeb掲載について

機関誌のバックナンバーを学会ホームページに掲載していますのでご活用ください。 <https://orsj.org/corsj-backnumber>
会員限定ページの閲覧に必要なユーザー名とパスワードは、会員マイページに掲載しています。

編集後記

●4月といえば日本では、春の訪れを感じるスタートの時期。少し気分もウキウキしてしまう時期ではあるが、2023年は、少しいつもとは事情が違いそうだ。なぜならば沢山の商品の値上げラッシュが予定されているからだ。既に値上げは2022年度から始まっている。総務省によると2022年11月の消費者物価指数は、生鮮食品を除いた指数が、2021年11月の100.1から103.8に上昇。上昇率は3.7%で、これは、第2次オイルショックの影響が続いた1981年12月以来、40年11か月ぶりの水準となっている。

●2023年、値上げが予定されている食料品や飲料は7,000品目を超えたことが信用調査会社の報告にもあった。値上げは1年の中でも1月から5月の前半に集中している。予定している値上げの内、4月が43%でトップ、1月が28%、5月が27%、3月が21%、2

月が20%と続いている。4月は、「値上げ実施時期としてキリがよい」と考えている企業も少なからずいるようだ。

●2023年は、価格上昇ももちろんのこと、価格を変えないものの商品の内容量を減らす、内容量「減」などの「目に見える形の減少」も多く、インフレを実感してしまう年になりそうだ。

●値上げの原因には、原材料の高騰や円安によるコストの増加、電気料金や燃料費の高騰の影響、人件費の上昇などさまざまな要因が重なっていることがあげられるが、消費者としては、この状況を只、見守るしかないのだろうか。今後も商品価格や商品の内容量から目が離せなくなりそうである。

(朝日弓未)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 野々部 宏司 (法政大学)

特集担当編集委員 高野 祐一 (筑波大学)

委員 朝日 弓未 (東京理科大学), 伊豆永 洋一 (九州大学), 井床 利生 (IBM基礎研究所), 井家 敦 (神奈川工科大学), 鶴岡 孝盛 (防衛大学校), 梅谷 俊治 (大阪大学), 大竹 恒平 (東海大学), 加藤 怜 (公益財団法人鉄道総合技術研究所), 小林 隆史 (立正大学), 佐久間 大 (防衛大学校), 笹谷 俊徳 (東京ガス株式会社), 猿渡 康文 (筑波大学), 関谷 和之 (成蹊大学), 生田目 崇 (中央大学), 蓮池 隆 (早稲田大学), 原田 耕平 (株式会社NTTデータ数理システム), 山本 零 (慶應義塾大学), 吉田 琢史 (株式会社東芝)

本誌に掲載された記事についての著作権は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

令和5年4月号 第68巻 第4号 通巻748号

代表者 山上 伸

発行所 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

電話 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 〒101-0032
<https://orsj.org>

編集人 野々部 宏司

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 〒151-0051

- ・本誌購読のお申込みは、日本オペレーションズ・リサーチ学会へ。
- ・本誌への広告のお申込みは、明報社 (Tel 03-3546-1337) へ。